

第 6 次計画に基づく病院整備計画の状況報告資料

- 1 病院名：医療法人光仁会 南部厚生病院
- 2 所在地（開設予定地）：埼玉県春日部市大場 20 番地 1
- 3 整備計画（増床）病床数： 30 床
（医療機能別内訳：緩和ケア病床 30 床）
- 4 スケジュール

	項 目	完了（予定）年月
1	開設（変更）許可（医療法）	平成 30 年 7 月
2	建築（着工）	平成 30 年 8 月
3	建築（竣工）	平成 31 年 5 月
4	医療従事者の確保	平成 31 年 5 月
5	使用許可（医療法）	平成 31 年 5 月
6	開設（増床）	平成 31 年 7 月

当初、平成 30 年 12 月予定

5 整備方針、目標

○地域医療を支えていくために圏域で果たす役割、機能、

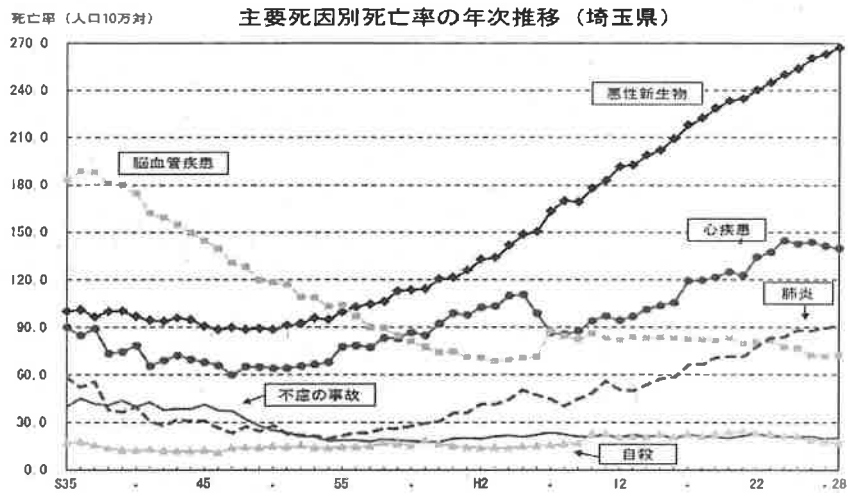
現在東部医療圏では、少子高齢化の急速な進展や疾患構造の変化・ニーズの多様化が著しく、医療資源の有効活用が求められております。救急・急性期医療から回復期・慢性期、在宅医療・介護まで、医療機関の機能分化と、多職種による地域包括ケアが推進されております。

当院は、埼玉県がん対策推進計画ならびに埼玉県地域医療構想に基づき、がん診療連携拠点病院等と連携し、従来からの重度慢性期患者（療養病床での長期療養および終末期患者等）の対応を維持しつつ、新たに緩和ケア病床 30 床を新設し、慢性期から終末期医療を中心とした病床運営をおこない、東部医療圏のがん緩和医療の一端を担ってまいります。

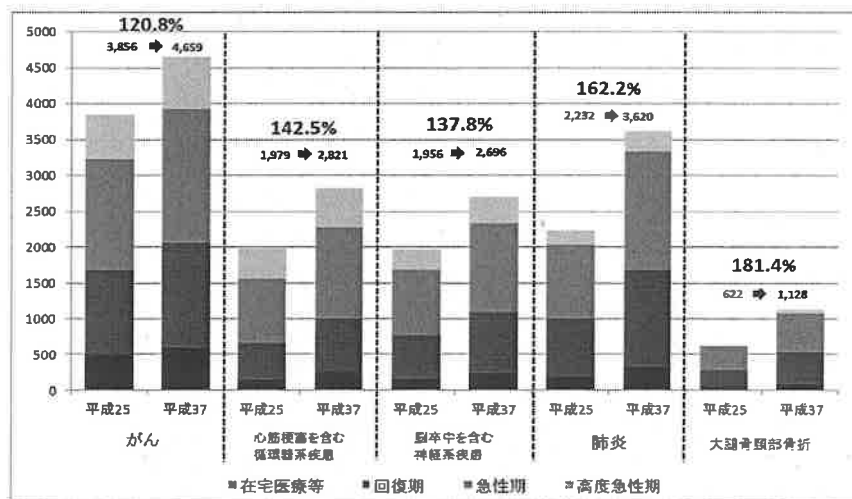
埼玉県では、がんの死亡率（人口 10 万人対）が高齢化の進展に伴って上昇傾向にあり、昭和 56 年（1981 年）から死因の第 1 位となって以来、上昇の一途をたどっています。年間死亡者数 6 万 3 千人のうち、3 割にあたる約 1 万 9 千人ががんにより死亡しています。

年齢階層	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
年少人口（0～14歳）	29,931	27,055	24,331	21,712	19,266	17,683	16,548
生産年齢人口（15～39歳）	71,331	62,119	56,336	52,369	49,323	44,757	39,930
生産年齢人口（40～64歳）	83,780	79,609	77,045	75,706	71,793	66,017	58,112
高齢者人口（65歳以上）	52,131	64,676	69,966	69,503	68,424	68,531	70,206
後期高齢者人口（75歳以上）	18,609	25,976	34,923	43,053	44,363	41,176	38,981
総人口	237,173	233,459	227,678	219,290	208,806	196,988	184,796
高齢化率	22.0%	27.7%	30.7%	31.7%	32.8%	34.8%	38.0%

【国立社会保障・人口問題研究所より統計値データ抜粋】



【資料：埼玉県がん対策推進計画】



【資料：埼玉県地域医療構想】

○新たに担う役割

がん診療連携拠点病院等、地域のがん患者に対し、緩和ケア病床での受入れをおこない、地域のがん医療の向上を図ります。また、地域住民に対して、がんに対する理解を促し、「がんを知り・がんと向き合い・がんと共生できる」社会の創生を目指してまいります。

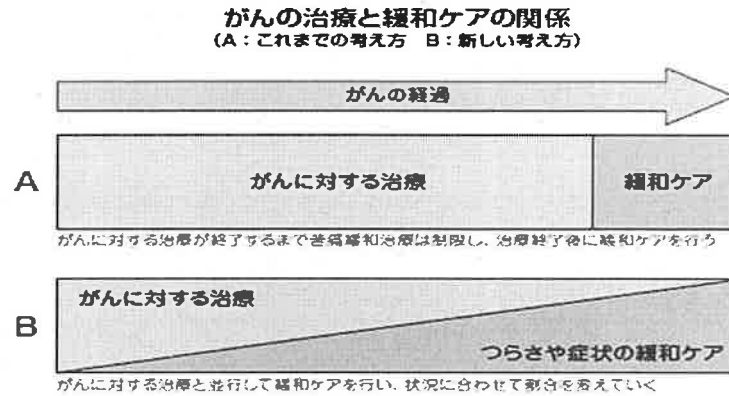
当院では、長年療養病床を運営し、地域の医療機関から重度慢性期患者（高齢終末期患者を含む）のご紹介をいただきました。この度、新たに緩和ケア病棟を新設し、従来の医療依存度の高い慢性期患者の対応を継続しつつ、がん診療連携拠点病院や在宅療養支援診療所、介護施設等から、がん患者を積極的に受け入れていきます。

また、院内体制においては、緩和ケアチームを発足した上で、緩和ケア外来から入院まで、身体的・精神的苦痛をケアし、「医療社会福祉課（各種相談）」と「地域医療連携室（病診・病病連携）」を窓口として、終末期患者の多岐にわたる課題に対応してまいります。

○将来の方向性

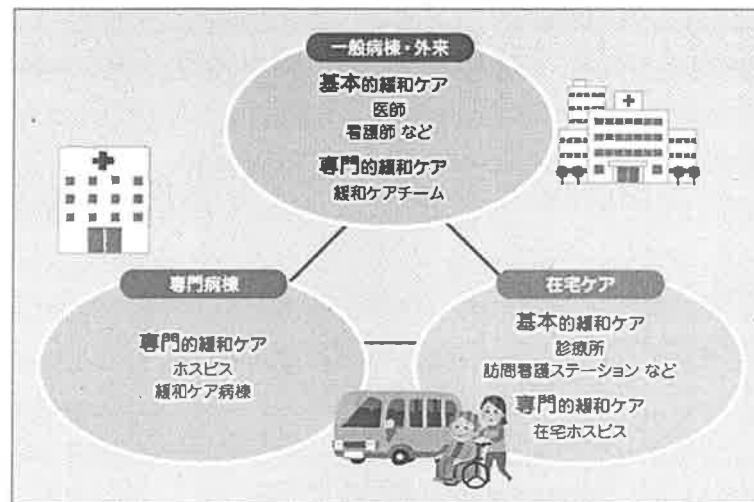
社会的な背景（高齢化に伴うがんおよび重度慢性心不全、後天性免疫不全症候群）において、「その人らしい生き方」「住み慣れた地域での暮らし」「病気による身体的・精神的苦痛の緩和」に重点をおき、可能な限り在宅での生活を支援することが大切です。

従来の緩和ケアの考え方は、急性期治療が終了してから緩和ケアが提供されるというものでした。昨今では急性期治療と適切な緩和ケアを同時に提供していく、「包括的がん医療（Comprehensive cancer care）：2002年WHOの定義」が提唱されています。



【国立がん研究センター・患者情報サービスより】

がん医療提供体制においては、急性期治療を担うがん診療連携拠点病院や、がん診療指定病院を中心に、緩和ケア病棟や療養病棟を有する病院、在宅療養支援診療所等による、病病・病診連携の更なる充実が必要です。また、高齢終末期患者においては、医療機関だけでなく介護施設等での看取り体制を強化する必要があります。プライバシーに配慮した上で患者情報を共有し、緩和ケアに関する知識向上に努めながら、多施設多職種による地域でのチーム医療が求められます。



○現在の体制では対応できていない患者と今後の見込み等

「対応できていない患者」

当院は療養病床のみであり、高齢終末期患者を多床室で対応していますが、若年者の末期がん患者で個室を希望される方の対応は難しい状況です。また、再度急性期治療を希望される場合や、緩和目的の放射線照射や転移巣の確認等は、治療できる設備や急性期の病棟がなく、紹介元もしくは近隣の急性期病院への転院が必要となります。当院では現在、在宅診療体制を整備中であり、当面は周辺の在宅療養支援診療所や訪問看護事業所と連携しながらの対応となります。

「今後の見込み」

当院の地域における役割として、慢性期病床と緩和ケア病床を主体に、今後も急性期・回復期病院、診療所、介護施設等と連携を密にして地域完結型医療の一端を担うため、新病棟には個室の環境を整え、幅広い患者層に対応していくことと、早い段階で在宅医療体制を整え、在宅緩和ケアを提供できるように努めていきます。

【増床病棟】

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
緩和ケア病棟	30床	一般病床		
診療科 内科・心療内科・リハビリ科・緩和ケア科（新設）				
患者の受入見込み がん診療連携拠点病院等から年間約 380 人（95%） 自院急性期病棟から年間 0 人、（0%） 在宅診療所から年間 10 人（ 2.5%）、介護施設から年間 10 人（ 2.5%） （訪問診療を行う患者数：在宅医療体制を準備中であり、当面は近隣の在宅医療実施医療機関や訪問看護ステーションと連携し実施予定。）				
医療（介護）連携見込み ○紹介元： 獨協医科大学埼玉医療センター、春日部市立医療センター、秀和総合病院、春日部中央総合病院、みくに病院、埼玉県立がんセンター、越谷市立病院、自治医科大学付属さいたま医療センター、さいたま赤十字病院、国立がん研究センター東病院等 ○紹介先：近隣の在宅療養支援診療所、療養病棟、介護施設等。				

6 既存病棟の概要

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
医療療養病棟	108 床	療養病床	358 日	99.0%
診療科 内科・整形外科・皮膚科・心療内科・泌尿器科・リハビリ科				
診療実績 ○主な対象疾患は脳血管疾患、糖尿病、肺炎、心不全、難病（パーキンソン病等）、悪性腫瘍、嚥下機能の低下等、慢性期状態にある患者を受け入れております。 ○病床は「療養病棟入院基本料Ⅰ」が2病棟。医療区分2・3に該当する重度慢性期患者が全体の90%以上を占め、主な医療行為としては、中心静脈栄養、気管切開、痰吸引、酸素投与、褥瘡処置、血糖コントロール等が全体の9割になっています。 ○春日部地域を中心に、医療依存度の高さにより施設対応が困難な医療区分1の患者も積極的な受入を行っております。 ○在宅復帰支援に向けて、重篤化した患者が多い中でも疾患に応じたリハビリテーションを実施し、運動器リハビリテーション料(Ⅰ)と脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅲ)を届出、ご家族やご本人のご要望に応じADL向上を図っております。				

7 医療（介護）連携における課題、問題点

- 春日部市においては、市や医師会、介護支援専門員との連携が十分に図れており、地域包括ケアシステムの構築は進んでいます。
- 当院は病床利用率が高く空床が少ないため、待機患者が多い時期もあります。
これは他院で受入れ困難な重度慢性期患者の需要が多いことと、在宅復帰が滞っていることが要因にあります。また、退院支援にあたり在宅医療をおこなう医療機関が少なく、訪問看護や介護における医療介護従事者不足も大きな要因のひとつです。
- 高齢者のみの世帯や独居が多いことから家族介護力に頼れない状況があります。
介護施設等においても医療依存度の高い患者や看取り対応が難しい場合があります。
- がん診療拠点病院の入院患者のうち、大方2割以上ががん患者といわれています。
平成29年9月時点での、県内の緩和ケア病棟を有する病院は13病院263床（東部医療圏は2病院34床）と少なく、今後は緩和ケア病棟や療養病棟、在宅医療や介護施設等、終末期患者の受け入れ先の確保が課題です。

別紙

病院整備計画 病床機能報告調書（現状と整備計画後）

病院名	医療法人光仁会 南部厚生病院
-----	----------------

1 現状（平成30年7月1日時点）

病床機能区分	病棟名	病床種別	入院基本料・特定入院料	許可病床数	稼働病床数	備考
高度急性期						
急性期						
回復期						
慢性期	医療療養病棟	療養	療養病棟入院料 1	108	108	
その他 (休棟等)						
計				108	108	

2 整備計画後

病床機能区分	病棟名	病床種別	入院基本料・特定入院料	許可病床数	稼働病床数	備考
高度急性期						
急性期						
回復期						
慢性期	医療療養病棟	療養	療養病棟入院料 1	108	108	
	緩和ケア病棟	一般	緩和ケア病棟入院料 2	30	30	
その他 (休棟等)						
計				138	138	